



堺フェニックスロータリークラブ
SAKAI PHOENIX Rotary Club

D2640

▶ 四つのテスト

～言行はこれに照らしてから～

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

地区ガバナー

大澤 徳平

会長

吉川 美幸

幹事

田辺 弘樹

会報委員長

細川 浩二

▶ クラブ事務所

〒590-0021
堺市堺区北三国ヶ丘町1-1-16
C-17号

TEL:072-227-4990
FAX:072-227-4991

例会日:毎週木曜日 18:30～
例会場:ホテル第一堺

<http://www.sakaiphoenix.com>
rotary@sakaiphoenix.com

第710 回例会

通巻678号

平成24年4月19日

2011～2012年度No. 38

本日の例会 (第710 回例会)

2012 年 4 月 19 日(木) 18 時 30 分

場所: ホテル第一堺

司 会 中井 昭宏 SAA

開会点鐘 吉川 美幸 会長

ロータリーソング斉唱「四つのテストの歌」

ロータリーの綱領

お客様紹介

会長の時間 吉川 美幸 会長

出席報告 河野 強副 SAA

委員会報告 中野 一郎奉仕プロジェクト委員長

卓 話 「地域医療」貝山 香純会員

幹事報告 田辺 弘樹 幹事

次期幹事報告 中井 崇嗣 次期幹事

SAA 報告 河野 強副 SAA

閉会点鐘 吉川 美幸 会長

次回の例会予告 (第711 回例会)

2012 年 4 月 26 日(日) 場所: ホテル第一堺

大阪狭山 RC 合同例会

卓話 第2640 地区ガバナーエレクト北中 登一様

次々回の例会予告 (第712 回例会)

2012 年 5 月 3 日(木)

定款第6条第1節の規定により休会

国際ロータリー第2640 地区

地区大会 1日目 2012 年 4 月 7 日 (土)

会場: リーガロイヤルホテル堺

地区大会 2日目 2012 年 4 月 8 日 (日)

会場: 国際障害者交流センター



4 月 8 日出席報告

在籍者	28 名	出席者	19 名
出席計算会員	22 名	欠席者	7 名
出席免除者	6 名	免除出席者	1 名
先々週修正出席率	80.0%	出席率	80.7%



2011-12年度 RI会長 カルヤン・バネルジー (Kalyan Banerjee)

国際ロータリーテーマ Reach Within to Embrace Humanity

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

[唱和]

Reach Within to Embrace Humanity

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

地区大会に参加して

会長 吉川 美幸

今年最大のイベント、2640 地区地区大会が終わりました。昨年に引き続き、沢山のフェニックスロータリークラブの皆さんがお手伝い下さり、今年のフェニックスのコ・ホストクラブとしての役割を十分に果たす事ができました。本当に有難うございました。

一日目、呂春榮 R I 会長代理の基調講演は、大分、日本語の勉強をされたのだと思いますが、悠長な日本語のご挨拶から始まりました。呂 R I 会長代理は、台湾の方ですが、日本の事を大切に思っているのだと感じました。

その後夕刻から、呂 R I 会長代理の歓迎の晩さん会があり、出席させて頂きましたが、晩餐会は私にとっての初めての経験でした。

厳かに早乙女文楽の浄瑠璃人形に先導され、呂 R I 会長代理が、入場されました。こんな事は、日本人でも、中々経験出来るものではありませんので、古来の日本の伝統文化に触れ、非常に喜んでおられました。

大澤ガバナーならでこそ、素晴らしい企画だと思いました。

私は日頃の現実慌ただしい生活から離れ、うっとり鑑賞させて頂きました。

このような経験をさせて頂けましたのも、ロータリーに所属していてこそだと、今さらながら、感謝しました。

呂 R I 会長代理にも、ご挨拶させて頂きました。

(本当はもじもじしていた私を、田辺幹事がひっぱって行ってくれたお陰でしたが、ご挨拶できました)。

今さらながら田辺幹事の語学力はすごいな。と、改めて感激した晩餐会でした。

晩餐会の時の私のテーブルには、新宮ロータリークラブの方が 2 名おられ、洪水の際フェニックスからの支援を心から感謝しているとお聞きし改めて嬉しくなりました。新宮の方から、今年の 7 月か 8 月(石田会長年度)に、あわび取りにフェニックスロータリーの方々に、是非来て欲しいと招待を受けましたので、石田次年度会長にお伝えしました。来年度早々ですが、楽しみにしたいと思います。

二日目、また早くから沢山のフェニックスのメンバーが

お手伝い下さり、皆さんのお蔭で、コ・ホストクラブとしての役割を十分果たすことが出来ました。

特に、新会員の貝山会員、内藤会員のかいがいしさは微笑ましく、役割も、お客様の接待係とは、さすがの適材適所だと思いました(笑)。

お昼のお弁当の時には、晴れ女の異名を持つ私のお陰ゆえか、空も晴れ渡り、桜も満開という最高のお花見日和でしたので、石田会員の調達して下さった敷物のお蔭で、フェニックスの人達と、お花見弁当を美味しく頂く事ができました。

お昼からは、「極道の妻たち」を執筆された小説家、家田 莊子先生の講演では、ストレスの多い現代の子供達に今、何が起きている、どうしていかないといけないかを考えさせられる内容でした。

講演が終わると、大部分のロータリアンの方々が、帰ってしまったので、子供たちの発表会は、少しさみしかったのですが、私個人としては、興味のあったハンドベルの演奏を聴き、レベルの高さにビックリしました。

その後、青少年交換学生・財団奨学生・米山奨学生・インターアクト・ローターアクトの紹介がありましたが、フェニックスの関わっている子供達の時、一段と大きな拍手だったと感じたのは私だけだったのでしょうか。

最後にいつもの「手に手をつないで」を、皆で歌って終了したのですが、歌う時の輪が、作れなかったらいけないからと言って、わざわざ、また来て下さったフェニックスの会員がおられ、その気持ちに感謝しました。

ロータリーって、このような善良な人たちで成り立っているのだと、改めて思った、地区大会でした。

最後に、お忙しい中、お手伝い下さった会員の方々に心



から感謝いたします。
有難うございました。

地区大会に福島県RI2530 地区

大橋直前ガバナー様をお迎えして



直前ガバナー米田眞理子

東日本大震災の被災地区から大橋直前ガバナーがご参加下さり、我堺フェニックスRCへの自社製品のお土産を頂戴しました。同じく被災地の新潟から東山直前ガバナーもご参加くださり、花を添えていただきました。

大会初日からご参加いただき、大会本会議では当地区の震災支援活動の御礼を述べられました。

「今年も桜が咲きました。福島は3・11を忘れない、生涯忘れることはないでしょう。福島原発事故・被災の4日目にはRI2640地区から多くの支援物資を頂戴しました。心より御礼申し上げます。10tトラックいっぱいの毛布、水、食料品を米田眞理子直前ガバナーが、医療チームと共にトップに立って現地入りしてくださいました。同行のメンバー7名には後光が射しておりました。当時、水もない食料品もないガソリンもない避難場所には毛布もない何もない、そこに先頭切って米田ガバナーが医薬品も含めて届けてくれました。物心両方のご支援を頂き、これぞロータリー、ロータリアンで良かったと思った瞬間でありました。ロータリーは素晴らしい！ロータリーはこういうところがあります。」とのお話に、当時、苦勞をかけたガバナー補佐が涙して感動しておりました。多くの参加者に感動を与える、御礼のスピーチでありました。感動の再会でもありました。

6月には初めての同期ガバナー会が大阪と堺で開催されます。ほとんどの地区からご参加いただきます。その時、全国の同期ガバナーと再会できる予定です。最後になりましたが、我が子クラブ、堺フラワーRCのホストの地区大会は大成功でした。おめでとうございます。またコ・ホストクラブとしての堺フェニックスRCのメンバーの二年連続活躍のすごさにも感心いたしました。2日間に亘りご苦勞様でした。ありがとうございました。

地区大会によせて

幹事 田辺 弘樹

去る4月7日、8日と、2011-2012年度地区大会が開催されました。

一日目はリーガロイヤルホテル堺が、二日目は、昨年と同じ、国際障害者交流センター・ビッグアイが会場となり、両日とも活気ある大会となりました。

ビッグアイの周りに咲く花を見ながら、昨年度、弊クラブがホストクラブとして、地区大会を準備・実行したことを思い出し、あれからもう一年と半年が経ったのだな、秋と春では同じ会場でも雰囲気が違うものだなと感じました。

今年度は、堺フラワーRCがホストクラブとして、大会を準備・実行しておられましたので、堺フェニックスRCとしては、地区大会を楽しむ時間があつたのではと思います。

大会実行副委員長として、今年も御尽力された岡田会員、二日目、友愛の広場やその他包括的に準備をされていた、京谷会員と河野会員、私が参加できなかった一日目のご準備に勤しまれた方もおられたと思います。それぞれ個人が地区大会という一つのことにサービスする、これがロータリーの精神の一つかと感じると共に、今現在、協力できる立場にいられることを、クラブ・また諸先輩方に感謝する次第です。

もちろん次年度以降も、一クラブとして、一会員として、他のクラブやロータリアンと親睦を深めながら、ロータリー活動を続けていくことが真理と考えます。

大きなイベントが終わり、今年度残すところもあとわずか。

目の前のことをきちんとこなしながら、一会員として恥ずかしくないよう頑張る所存です。皆様のご協力、最後までよろしくお願いいたします。



RI D2640 幹事 中井昭宏

2011-2012 年度の地区大会が平成24年4月7日・8日に開催されました。

本会議開始前の様子です



ロータリアンの入場前の会議場です



次期代表幹事 上田俊夫さんです。



地区大会副実行委員長 岡田正一さんです。地区大会のために夜遅くまで事務所で作業をされていました。感謝です。



ホストクラブである堺フラワーの方々です。



北中登一ガバナーエレクトと辻秀和ガバナーノミニー



国際ロータリー第2530地区の大橋廣治直前ガバナーと米田眞理子直前ガバナー

いよいよ本会議の開始です



コホストクラブとして堺フェニックスの貝山香純さんと内藤絵梨奈さんがホストクラブとともに整列！

大会1日目



14時に大澤徳平ガバナーの開会点鐘に始まりました。



今回は RI 会長代理基調講演に国際ロータリー第3510地区(台湾)の呂 春榮 RI 会長代理がお越しになりました。

「大澤徳平ガバナーをはじめパストガバナーの皆様の強いリーダーシップのもと、第2640地区はロータリー奉仕活動の実践やロータリー財団への貢献において、アジアの中でも素晴らしい地区であります。ロータリアンとして好意と友情を深めましょう。ロータリーファミリーの一員として私たちはこころの中を見つめ、博愛を広げ、そしてすべてのものに平和をもたらすように探求し続けることでしょ



地区指導者育成セミナーが2006-2008年度RI理事 研修リーダー 渡辺好政様の御講演でした。「BETTER ROTARY, BETTER ROTARIANS」として職業奉仕の重要性について、わかりやすく、楽しいお話でした。

「みなさま、私たち一人一人がロータリー創立の原点を探り、職業奉仕倫理の高揚を掲げながら、一緒に、ロータリーの 夢のかたち をあるものにして行こうではありませんか。」

講演が終わり、地区青少年奉仕プロジェクトについて、ライラ委員会 仲峯 豊委員長より報告がありました。地区大会選挙委員会 平岡正巳委員長より、これまでの地区の経過報告がありました。そして閉会点鐘。

RI 会長代理歓迎晩餐会が乙女文楽と狂言にて始まりました。ここでは多くのロータリアンに出会えることができました。

2006-2008 年度国際ロータリー理事 渡辺好政様
国際ロータリー研修リーダー 杉谷卓紀様
国際ロータリー第2670地区 ガバナー美馬精一様、
国際ロータリー第2700地区 パストガバナー川村謙二様
国際ロータリー第2530地区 直前ガバナー 大橋廣治様
国際ロータリー第2560地区 直前ガバナー 東山昕也様
ロータリー友事務所 野崎恭子様
ロータリー米山奨学会 志村桂子様



大澤徳平ガバナーの赤いジャケットは1度目のガバナー時代のものだそうです

呂 春榮 RI 会長代理 日本語でご挨拶をされました。



RID2530 地区大橋廣治直前ガバナーと堺フェニックス



次年度石田得子会長と中井昭宏会長エレクト



(左から) 田辺弘樹会員・河野 強会員・貝山香純会員・犬伏幸代会員・内藤絵梨奈会員・岡田正一会員・堺フラワー松井佐和子会員



小野晃範地区幹事と羽衣RC 谷野様



閉会の挨拶 岡田正一



手に手つないで

この日、堺フェニックスは岡田正一地区大会副実行委員長を筆頭に米田眞理子直前ガバナー、上田俊夫次期代表幹事、吉川美幸会長、石田得子会長エレクト、中井崇嗣会員、貝山香純会員、内藤絵梨奈会員と私が本会議の前の準備から参加、本会議から小野晃範地区幹事、犬伏幸代会員、田中範子会員、中野一郎会員が出席されました。RI 会長代理歓迎晩餐会から松本美和子会員、河野 強会員が参加しました。

2日目は本会議が開催されました。



会場の登録受付



国際ロータリー第2530地区 直前ガバナー 大橋廣治様

この地区との絆は2011. 3. 11に発生した東日本大地震にあります。その当時の米田真理子ガバナーが第2530地区に一通のメールを送ったことに始まります。

3月15日（火）、第2640地区米田真理子ガバナーより、一通のメールが届きました。内容は、地場の暖かい上質の毛布が1,000枚、他に日用品や菓子類等々入手出来たので、直接手渡しでお届けしたいという大変ありがたいお話を頂きました。

しかし、当第2530地区（福島県）は放射能もれを引き起こし、福島県には入県できないという風評、流言飛語が飛び交っていた最中であつたのでご好意を受けるべきかどうか大変悩んだのでありますが、苦渋の選択の末に正確な情報を説明申し上げ、甘んじてご好意をお受けすることにさせて頂きました。

米田真理子ガバナーにおかれましては、危険を顧みず、早速3月18日（金）の真夜中、大阪を出発され一睡もせず、10時間をかけ、翌日19日（日）正午、会津若松市に、先導にガバナー車、救急車、そして10tトラックの計3台で、疲れも見せずに米田真理子ガバナーはじめ、第2640地区堺フェニックスRC、堺フラワーRCと総勢6名の皆様が到着されたのであります。只々、感動であります。感謝であります。改めてロータリーの素晴らしさ、そして凄さを再認識させて頂きました。これ等は、阪神大震災の貴重な体験を生かされ、女性ガバナーならではの心くばりに衷心より敬意を表するものであります。

そして休む間もなく、とんぼ返りで第2640地区へと帰られました。お見送りさせて頂きましたが、米田真理子ガバナーをはじめ6名のロータリアンが神々しく見えました。

我々第2530地区5名のロータリアンは早速、その日の午後には、2,700余名の避難先である福島あづま総合体育館に第2640地区（大阪南・和歌山）ロータリアンの心を届けて参りました。（国際ロータリー第2530地区ホームページより）

本会議に出席された方は大橋廣治直前ガバナーのお話を聞き、どう感じられたでしょうか。当地区の地区大会にお越し下さり、感謝とお礼の言葉を話されました。ロータリアンとして、一人の人間として、どう感じられたでしょうか。

私は大橋廣治直前ガバナーのメッセージに感動しました。第2640地区の行動がよかったんだと・・・・・・・・・・逆に、今後も東日本大震災の復興支援は必要であることも感じました。そして今の現状を確認する必要があることも実感しました。

今回、堺フェニックスの有志で被災地に訪れたいと思います。



ライラ研修セミナーの様子です。



たぬき寿司さんのお弁当です。



作家 家田莊子様との一枚です。



当クラブのエレンブルックスさんのスピーチです。

2日目、岡田正一地区大会副実行委員長、米田眞理子直前ガバナーと共に早朝より会場監督設営として京谷知明会員、舞台設備管理として田辺弘樹幹事、登録受付準備に上田俊夫次期代表幹事、小野晃範地区幹事、田中真琴地区幹事、酒井 誠会員、中井崇嗣会員、貝山香純会員、内藤絵梨奈会員、登録受付開始誘導に吉川美幸会長、石田得子会長エレクト、片木 修直前会長、犬伏幸代会員、田中範子会員、松本美和子会員、中野一郎会員、初芝立命館高校インターアクトクラブ、青少年交換学生のエレンブルックスさん、米山奨学生のみぐるさん。途中、大森 豊ガバナー補佐の抹茶接待係に当クラブの若手女子、吉川美幸会長、貝山香純会員、内藤絵梨奈会員が奮闘していました。

みなさん本当にお疲れ様でした。